



あきほ

2021年 冬

52

ご自由にお持ち
ください。

A K I H O



撮影のため、マスクを外しています。

特集

日本海八幡クリニック 地域医療の底辺から頂上まで



日本海八幡クリニック 地域医療の底辺から頂上まで



外来診療

日本海八幡クリニックは高齢の方にも利用しやすい診療所です。自治医科大学卒業の内科、外科医師が「かかりつけ医」として診療を行うとともに、循環器内科、整形外科医師も非常勤で勤務し、在宅医療から専門的な医療まで幅広い診療が可能です。日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院と連携し、スマートな地域医療をめざしています。

診療は月曜日から土曜日、受付時間は午前8時から午後5時50分まで（土曜日は午後4時30分）となっています。

平日の夕方と土曜日は現役世代の方にも利用しやすいように配慮しました。土曜日の午後には診察している診療所は少ないためか遠方から来院される方もいます。

診療スペースはもとも病院だったこともあってゆったりです。パステルカラーでホッとさせる雰囲気。待合室を中心に、右側に予診採血室、検査室（超音波・内視鏡・X線）、左側に内科・外科診察室、奥に訪問看護ステーションとリハビリ室があります。

当院の特長は日本海総合病院の電子カルテの参照用端末を設置していることで、最近では日本海総合病院と当院の両方を定期的に受診し、二人主治医の形をとる患者さんが増えていきます。そのような時に、日本海総合病院でどのような診療を受けているのかがよくわかり、当院での診療と整合をとることができます。

また当院から紹介した患者さんの病状が手に取るようにわかり、診療を担当した医師の思考過程を知ることのできるのも勉強になります。日本海総合病院での診療内容を理解されていない患者さんに対しては、当院で再度噛み砕いて説明することも可能です。

私自身は外科を担当しています。外科という看板の自身は「内科以外」で、要するに何でも診る科ということになります。特に高齢の方々が多く、庄内弁によるちぐはぐな訴え

に対応するのは得意とするところ。相手が庄内弁だとこちらも庄内弁になり、つつい品格がやさしくなるので、適当なところで標準語らしき言葉に戻すようにしています。10年20年の付き合いですので親戚のように感じられ、和やかな雰囲気になってしましますが、患者さん達もそれが安心と感じるのかもしれない。時に人生でやるべきことはすべてやった、あとは来るべき時を待つだけだ、という境地を語る高齢の方の話は清々しく、自分もあやかりたいものだと思うことがあります。

循環器内科は週1日、整形外科は週半日の診療を行い専門的な医療を行うとともに、当院と日本海総合病院の架け橋となっています。リハビリテーション科は週1日、日本海酒田リハビリテーション病院から理学療法士の派遣をいただき消炎鎮痛処置を行っています。



日本海八幡クリニック
院長 土井 和博



在宅医療

在宅医療は訪問診療、訪問看護、特別養護老人ホーム幸楽荘の診療を行っています。

「訪問看護ステーションやわたし」は5人の看護師が勤務し24時間体制をとっています。現在約40名の利用者がおり在宅での療養環境の設定、処置点滴、装置の管理、ご家族の支援や医師との仲介を行っています。通院中の慢性疾患の患者さんの病状が悪化した時に、超高齢や認知症などでは入院を希望しないことが少なくありません。新型コロナウイルス対策のため入院後の面会が制限されることもあって在宅療養を希望される傾向があります。そのような時に訪問看護とのコラボで速やかに在宅医療を開始できるので重宝しています。

そして看取りにおいては、患者さんの病状に加えてご家族が最後まで自宅で看取っていくかが要点となりますが、ご自宅での看取りの場合には訪問看護師がご家族のパートナーと

なり支援していきます。そして息を引き取った時は当番医に連絡し往診する体制となっています。

訪問診療は約70名の患者さんを2名の医師が分担し原則月1回訪問しています。年に数回研修医も同行しますが、古い農家では仏壇のある部屋に先祖の写真や戦没した若者の遺影が掲げているのを見て感動したり、薪ストーブを見て「これは何ですか」と質問したり、新鮮な体験になっているようです。もちろん診療もですが。



展望と課題

以下は私の個人的な思いですが、紙面を借りて述べさせていただきます。2018年4月に山形県・酒田市病院機構の一員となり、当院は病院から無床診療所へと変化を遂げました。幸いにも医師会はじめ多くの皆様のご支援により大きな混乱なく今日を迎えています。

その中で当院には日本海総合病院のカルテ端末が設置され閲覧可能となりましたが、これは医療情報の宝庫であり日常診療や病診連携にとっ

て有用有益なツールとなっています。また循環器内科、整形外科医師による外来診療が始まり、診療の幅や精度が向上しました。かかりつけ医、専門医、医療情報の融合によって、地域医療の底辺から頂上まで視界が開けたように感じられます。当院が立地するような過疎地診療所のニーズに見合った理想的な形が造られたのではないかと思います。このよう

な恵まれた環境ではありませんが、課題は診療のIT化や待ち時間の短縮、プライバシー確保です。来年度に現在の紙カルテを廃止し電子カルテに移行しますがペーパーレス化は難しい作業になりそうです。このような課題に職員一同が協力して取り組み、地域の皆様に一層親しまれる日本海八幡クリニックをめざしていきたいと思えます。



日本海八幡クリニック 山形県酒田市小泉字前田37番地
電話：0234-64-3311 FAX：0234-64-2054



松山・飛島診療所のご紹介



松山診療所

2018年4月に酒田市から山形県・酒田市病院機構に移管され、松山地区唯一の医療機関として地域の「かかりつけ医」として、総合診療を行い地域医療を提供、高度で専門的な医療が必要な時は日本海総合病院へ紹介し、連携した医療の提供をしています。

診療は、日本海総合病院に勤務する5名の医師が曜日ごとに担当し、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時30分、月曜日の午後は地見興屋診療所での診療、火・水・木・金曜日の午後は飛島診療所の遠隔TV診療を担っています。

病院機構では、松山診療所と日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院を結ぶシャトルバスを運行しています。松山診療所発が午前10時30分発と午後1時55分発で2便、日本



海酒田リハビリテーション病院午後0時35分発、日本海総合病院経由（午後1時発）が1便です。また、火曜日の午前は内郷地区循環バスを運行しています。診療所を受診する患者さんの多くは、高血圧症、高脂血症、高コレステロール血症や糖尿病の生活習慣病です。これらの病気が大病にならないよう、何でも相談できる地域の「かかりつけ医」をめざしています。

松山診療所 山形県酒田市字西田 8 番地の 1 電話：0234-62-2032 FAX：0234-62-2938



飛島診療所

松山診療所同様、2018年4月に酒田市から山形県・酒田市病院機構に移管され、飛島民の「かかりつけ医」として医療を提供しています。

診療所には常勤医師はおらず、4〜10月の間は毎週金曜日と土曜日に日本海総合病院の医師による出張診療を行っています。これ以外では、病院機構内の連携により、遠隔TV診療を行っており松山診療所が毎週火・水・木・金の午後に診療、日本海総合病院が24時間体制で救急医療を行い、無医島飛島の医療を確保しています。また、急な体調不良を訴える島民や観光客の不慮の事故等で救命措置が必要な場合には、ドクターヘリの救急搬送にも備えています。

現在診療所には、2名の看護師が勤務しています。常勤医が

いない環境の中、島外のかかりつけ医と情報を共有しながら、継続した医療提供を行っています。また、各戸への訪問により生活環境の把握に努め、生活指導や予防医学の提供、健康教育等の活動を行い、高齢化が著しい島民の健康を支えられるよう、日頃の業務に取り組んでいます。



飛島診療所 山形県酒田市飛島字勝浦甲 66 番地 電話：0234-95-2021 FAX：0234-95-2052

私の 仕事 紹介リレー

日本海八幡クリニック 副看護師長
訪問看護ステーションやわた 管理者



土井 清美

〈自己紹介〉

平成元年結婚を機に町立八幡病院に入職し、市町合併による酒田市立八幡病院を経て、病棟、外来、訪問看護（介護支援専門員）と経験を積みながら、訪問看護勤務は8年、管理者として4年目になります。

〈訪問看護の紹介〉

鳥海山・日向川・荒瀬川など、自然豊かなところにある日本海八幡クリニックの中に事業所があります。訪問看護は、療養者一人ひとりが「自分らしい生活」を実現し、安定した療養生活が継続できるように、疾患予防、介護予防など、自立支援から看取りまで寄り添い、療養者や家族に1対1で向き合いケアを行い

ます。現在、看護師5人で、酒田市八幡地域を中心に1日約20人の在宅療養者を訪問しています。療養者の

訪問看護師業務

- 病状や健康状態の管理と看護
- 医療処置・治療上の看護
- 苦痛の緩和と看護
- リハビリテーション看護
- 精神的看護
- 小児看護
- 家族の相談と支援
- 住まいの療養環境の調整と支援
- 地域の社会資源の活用
- 認知症と精神障害者の看護
- ターミナル療養支援と看取り
- 在宅移行支援
- 介護保険・医療保険請求

〈担当業務〉

病状に合わせ週末訪問や、24時間体制緊急訪問への対応もしています。

訪問準備、療養者の情報を確認、ミーティングで情報共有やカンファ

レンスを通しケア内容をより確認し、元氣よく「行ってきます」が一日の始まりです。移動は車で地域を回ります。バイタルサイン、フィジカルアセスメントを行い病状の観察をします。訪問するまでの経過など、本人・家族から、コミュニケーションを通し情報を得て、次に訪問するまでに、安全で安楽に過ごすことができるよう、セルフケアの実現や介護指導、生活指導を行います。

さらに管理者としての責務（法令順守・療養者、職員の管理・職場環境を整え、訪問看護の組織として方向性など）を果たしながら、明るい元氣な訪問看護としての運営が出来るよう日々奮闘しております。

〈心がけていること〉

訪問する者として、挨拶・時間の厳守などマナーを身につけた行動と信頼関係を築く事が出来るよう、寄

り添った看護を心がけています。また、そのための知識・技術・知性を備えるよう、学習会や研修への参加をしています。

〈やりがいを感じる瞬間〉

療養者や家族など、その方自身に向き合い関わる事が出来るのが訪問看護の醍醐味で、関わっていく中で、セルフケアや療養生活の向上につながった時にやりがいを感じます。

訪問した時に、おじいちゃん、おばあちゃんが笑顔で、「まず、はいれ」「よく来てくれたの」「待ってた」「看護師さん来ると安心する」と迎えてくれた時はとてもうれしいです。

いろいろな方の人生に触れ、その生き方から多くのことを学んだ時にやりがいを感じます。

〈今後について〉

「使ってよかった訪問看護」をめざし、変わりゆく社会情勢の中、地域で暮らしている療養者・家族等との関りを大切に訪問していきます。

医療・福祉センター について



医療・福祉センター

医療福祉相談室

がん相談
支援センター

緩和ケアセンター

医療・福祉センターは医療福祉相談室・がん相談支援センター・緩和ケアセンターの3つの部門があり、総合相談窓口になっています。

主任医療福祉相談員 **本間 真臣**

医療福祉相談室

医療福祉相談室は、社会福祉士（医療ソーシャルワーカー）の資格を持った相談員と事務員で構成され、病気や怪我の療養に伴う社会的、経済的、心理的問題など、生活問題全般について相談に応じています。具体的な内容としては、「医療費、生活費、保険、年金などでわからないことや心配なことがある」、「病気や治療についての不安や悩みがある」、「治療と仕事の両立ができるか心配」、「在宅で過ごすための介護保険、在宅医療について聞きたい」、「身体障害者手帳、障害年金などの申請をしたい」などです。その他にも、当院での治療が終了もしくはひと段落した方については、連携協力医の先生方への紹介も行っております。

がん相談支援センター

がん相談支援センターは、認定がん専門相談員とがん相談員（看護師、社会福祉士）ががんに関する様々な悩みや不安をお伺いします。

がんの検査や治療について、セカンドオピニオン、副作用に対する対応、医療費や生活面、がん全般にかかわる質問や不安・悩みなどさまざまな相談をお受けしています。その他にも、ウィッグ、乳がん術後の補整下着に関する相談、患者会のご紹介、がんに関する情報冊子も取り揃えております。

緩和ケアセンター

緩和ケアセンターは、看護師3名（うち緩和ケア認定看護師2名）が在籍しています。

緩和ケアは、病気になったときから、いつでも受けられることができます。以前は、緩和ケアは病気の治療ができなくなった患者さんに対して行うものと考えられていました。しかし今では、手術や化学療法などの治療と一緒に緩和ケアを受けることで、より良い状態で治療に励んでいる患者さんも増えています。

がんなどの疾患や治療に伴う体のつらさ、心のつらさ、生活のつらさなど様々な「つらさ」を抱えた患者さんとご家族をあたたく支えるため、通院中の方には緩和ケア外来、

入院中の方にはがん診療サポートチームがあります。病気による痛みや息苦しさがある、不安で眠れない、気持ちが落ち込むなど、からだの苦痛やこころの不安をできる限り和らげ、自分らしく生きていただけるようにチームで支えます。



撮影時のみマスクを外しています。

相談方法

1階エントランス内の「医療・福祉センター」に直接おいでいただくか、医師、病棟・外来看護師へお伝えください。相談費用は無料で、相談内容については秘密を厳守いたします。誰に相談したらよいかわからないなど、心配事があれば遠慮なくご相談ください。

元気・勇気・感動をありがとう! ブルーインパルス展示飛行

10月22日(金)ブルーインパルス練習飛行、10月23日(土)ブルーインパルス展示飛行が日本海総合病院上空でも行われ、特別にヘリポートに上がらせてもらい、観覧しました。

展示飛行当日は、厚い雲に覆われギリギリまで飛行の判断が危ぶまれる中、6機のブルーインパルスが上空に現れると、医師、看護師からは、歓声、拍手、喜びの声が次々と上がり、笑顔が見られました。同じ庄内の空を見あげる医療従事者と華麗なアクロバット飛行を魅せるブルーインパルスの姿がとても感動的でした♪



とっても興奮しました。今度は松島まで見に行きます!
看護師

22日の練習を見ました。大迫力でした。
薬剤部

ずーっと見てました。心がとっても満たされた思いです。遠渡さん、ありがとう!!
看護師

とってもかっこよかったです。子供たちと手を振りました👏
看護師

音がなんとも言えずテンション上がりました。また来てほしいです。
看護師

イヤなこと吹っ飛びました! ありがとうございます!
事務

このような機会をつくっていただいた、遠渡隊長をはじめとする航空自衛隊第11飛行隊ブルーインパルスの隊員の皆さん、素敵な空からのプレゼントをありがとうございました。

当院公式Twitterでは、ブルーインパルスの迫力あるフライトの様子を画像・動画で投稿しております。あの日の感動を、もう一度味わいたい方へ…。気になる方は、ぜひご覧になってください!!

当院公式Twitter



年末年始の外来休診

当病院機構の年末年始の外来休診は右のとおりです。緊急の場合は救命救急センター、または酒田市休日診療所をご利用ください。

ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《酒田市休日診療所 診療受付時間》

日中/午前8時30分~11時30分
午後1時~4時30分

※診察を希望する際は、必ず事前に電話21-5225(受付時間中のみ)に連絡してください。

月	日	日本海総合病院	日本海八幡クリニック	松山診療所	酒田市休日診療所
12月	28日(火)	診療日	診療日	診療日	休診
	29日(水)	休診	休診	休診	
	30日(木)				
	31日(金)				
1月	1日(土)	休診	休診	休診	診療日
	2日(日)				
	3日(月)				
	4日(火)				診療日

医師異動

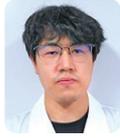
転入者 日本海総合病院
1 前任地 2 趣味・特技



整形外科
千葉 優人
1 公立置賜総合病院
2 ジョギング



放射線科
新野 一穂
1 山形大学医学部附属病院
2 ドライブ



精神科
豊嶋 豊樹
1 山形大学医学部附属病院
2 読書



整形外科
白井 千緒海
1 山形大学医学部附属病院
2 ピースステッチ



初期研修医②
永田 大樹
1 山形大学医学部附属病院
2 温泉巡り



呼吸器外科
松尾 草明
1 山形大学医学部附属病院
2 ジョギング



耳鼻咽喉・頭頸部外科
吉田 祥徳
1 山形大学医学部附属病院
2 家族でドライブ・息子の“プブ”好きを育む



初期研修医②
永田 大和
1 山形大学医学部附属病院
2 寝ること

転出者 日本海総合病院

内科 **野口 はるか** 国立国際医療研究センター国府台病院
消化器内科 **池田 千咲**
精神科 **大石 祥** 山形県立こころの医療センター
外科 **村山 最二郎** 村山医院
心臓血管外科 **梅津 梨恵子** 宮城県立こども病院

整形外科 **村上 成人** みゆき会病院
整形外科 **村中 雄治** 山形済生病院
耳鼻咽喉・頭頸部外科 **平野 雄介** 山形大学医学部附属病院
救急科 **横山 龍人** 山形大学医学部附属病院
初期研修医① **横山 裕希** 山形大学医学部附属病院

クリスマス音楽会のお知らせ

例年12月に開催しておりました「クリスマス音楽会」について、新型コロナウイルスの感染拡大等の懸念により、今年度も開催を中止といたします。
大変残念ではございますが、ご理解いただけますようお願いいたします。



編集後記

Editorial note

前号の日本海酒田リハビリテーション病院に続き、今号は、日本海八幡クリニック、松山診療所、飛鳥診療所をご紹介します。

ゆっくりな時間が流れる八幡クリニックはどこか心落ち着く場所でした。地域のみなさんにとっての大切な場所だと改めて思いました。

自粛期間が続いていますが、昨年とは違う日々を感じながら、新しい年を迎えたいものです。

今年1年、広報誌を手にとってくださりありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。



EMI JINGU BALLOON LABO 様よりバルーンのemmaちゃんを寄贈いただきました!



地方独立行政法人
山形県・酒田市病院機構

<基本理念>

1. 安心、信頼、高度な医療提供
2. 保健、医療、福祉の地域連携
3. 地域に貢献する病院経営

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

☎0234-26-2001(代表)

日本海総合病院 経営企画課広報誌担当まで

✉kikaku@nihonkai-hos.jp

日本海総合病院では広報誌以外にも情報発信を行っています!

f 臨床研修Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kensyu

f 看護部Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kango

🐦 日本海総合病院 Twitter 公式アカウント @nihonkai_hosp